

学校給食牛乳に関するアンケートのまとめ（お知らせ）

晩秋の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜びを申し上げます。また、平素より玉城中学校の学校教育の推進及び学校給食の運営や食育にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、今回玉城中学校では、緊急に学校給食牛乳についてのアンケートを実施したところ、全校生徒435名中363名と約8割の保護者の皆様より回答をいただきました。大変ありがとうございました。

回収したアンケートの結果より、アンケートの実施の趣旨と経緯が、**アンケート6の質問事項**で『飲まない生徒は、学校給食での牛乳の提供を停止しますか。』の質問を、『本校の生徒全員の学校給食での牛乳の提供を停止にするのかどうか。』という質問だと、捉え違いをした保護者が多くいると感じました。保護者の皆様には、アンケートの趣旨と経緯への説明が不十分であったと深く反省をしております。

そこで、**1. アンケート実施の経緯と趣旨について** **2. アンケート分析結果について** をお知らせ致します。保護者の皆様にはご確認頂き、もし質問等がありましたら、担当までご連絡下さい。

1. 実施の経緯と趣旨

- アンケートの文章に記載したとおり、牛乳を残す生徒が多いこと
- 『どうしたら飲めるようになるか?』、給食委員会で生徒と話し合いながら、ミルクデーなどの取り組みも行ってきましたが、期間中は一時的に減るだけで、イベントが終わるとまた残量が増加してしまう。
- 学校は残量牛乳の処分方法に苦慮しており、生徒・保護者の意識アンケートを行い、意見を伺うことにした。
- このアンケートを行う前に、全校生徒へ『どうしたら牛乳を飲めるようになるか?』のアンケートも実施し、意見を募りました。
- アレルギーや飲めない正当な理由を、学校や保護者に伝え切れていない生徒が存在すること。
- 家庭において『学校給食牛乳ロス問題』を話し合う機会にして欲しいこと。
- 『どうしても牛乳を飲めない』という正当な理由のある生徒（これまで、保護者に話せなかった生徒もいるようです。）は保護者の同意の下、牛乳停止希望を提出してほしいと考えた。（**ただし、牛乳停止の希望を提出したからといって、即停止となるわけではなく、市教育委員会や給食センターと相談し、熟考しながら行うことが必要となる**）

2. 分析結果（データの集計より）

○学校給食牛乳は栄養価が高く、成長期に必要なため、学校で飲んで欲しいと思っている保護者が多い

1 学年：90.24% 2 学年：88.24% 3 学年：89.86% 学校全体：89.53%

（約9割の保護者が、子供には学校給食牛乳を飲んで欲しいと思っている）

○自分の子供が、牛乳を学校給食で飲んでいないことを知らなかったという意見や、家庭において親子で学校給食や食品ロスなどについても話し合う良いきっかけになったと捉えている。

○アンケート後、学年によっては、牛乳残量が『0個』という日が有り、親子で話し合った効果だと捉えている。

○子供には飲んで欲しいという回答が多い反面、牛乳を停止しても良いと考えている保護者もいる。

○保護者からの情報提供によって、沖縄県酪農協同組合様より、『牛乳残量数を減らすためのお手伝いができないか。』という趣旨の電話相談があった。

学校の困っている現状を理解して頂いた上で、『一緒に子供たちが、牛乳ロスなくす方法を探しましょう。』とあって頂き、大変うれしく思った。

○学校給食センターの栄養士から、学校給食牛乳に関して、全校生徒を対象に、栄養講話をしたいと話がありました。

多くの保護者が学校給食牛乳は、成長期の子供には大切で、栄養的にも機能的にも継続して、飲ませたいという意見でした。今回のアンケートをきっかけに、学校で自分の子供が給食で出される牛乳を飲んでいないことを知った保護者も多く存在したことも事実です。

これからも、ご家庭で牛乳をはじめとするたくさんの問題提起に対して、子供と一緒に考える良い機会となりましたら幸いです。

玉城中学校としましては、保護者の皆様からいただきました意見や感想、質問等を真摯に受け止め、生徒と対話を重ねながら、これからの学校教育活動に役立てていきたいと思っております。

これからも、玉城中学校の学校教育の推進及び学校給食の運営や食育に、ご理解とご協力を承りますようお願いいたします。

なお、アンケートの集計結果及び詳細については、学校ホームページに記載しますのでご覧下さい。

敬 具